

事業番号	14 07 12	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県立長野図書館事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・室	文化財・生涯学習課	
総合5か年計画	プロジェクト	8-6-2 教育再生プロジェクト		E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり			実施期間	S25 ~	
		1 学びの成果が生きる生涯学習の振興					

1 事業の概要

目指す姿	<p>○生涯学習拠点としての図書館 県民が地域課題解決のために情報収集し、学びを地域に還元できるよう県内公共図書館とともに生涯学習拠点としての図書館を目指す。</p> <p>○長野県・信州に関する地域情報の拠点としての図書館 長野県・信州に関する資料収集への「こだわり」を持ち、網羅的な収集・整理・保存を行い、デジタル情報社会に対応した地域情報資産の活用方法等の調査研究・提案・実践を目指す。</p>	
現状 (予算編成時)	<p>○図書資料購入費が年々減額され、全国的に見ても非常に低い。(H25当初予算全国第40位)</p> <p>○多様なニーズに対し、正確かつ適切な情報を活字・電子の両媒体で提供できる体制づくりが必要。 H25より県立図書館のあり方検討を行い、県立図書館としての役割を再確認するとともに事業の見直しを行っている。</p>	

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 検討中	社会教育法、図書館法、県立長野図書館条例

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の情報拠点として、多様なサービスを提供し、県民の自主的な生涯学習活動の支援をする。 (個人貸出冊数140,000冊、調査相談件数8,000件) ・市町村立図書館との連携協力及び図書館未設置町村への支援を行う。(相互貸借年間利用4,000冊) 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		管理運営費	直接	館を管理・運営するための経費 【人件費】行政嘱託員12人報酬及び保険料等 【その他】維持管理経費等(燃料費等(電気・ガス・上下水道)・保守管理(庁舎設備)・その他(事務機器借上)	57,947	56,712	54,416
	コンピュータ管理費	直接	コンピュータシステムを管理・運営するための経費 消耗品・光熱水費 回線使用料 プロバイダ接続料 コンピュータ借上料	28,604	28,213	28,604	
	事業費	直接	・一般県民への貸出等の図書サービス 図書購入費等 ・市町村との連携・支援 相互貸借郵送料等	30,493	29,946	41,832	
	合計			117,044	114,871	124,852	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	117,650	119,525	117,044	124,852
	補正予算	2,016			
	合計(A)	119,666	119,525	117,044	124,852
	一般財源	113,823	116,729	109,628	110,950
	県債				
	国庫支出金				750
	その他	5,843	2,796	7,416	13,152
	決算額(B)	119,099	118,284	114,871	
概算人件費	職員数(人)	24.00	24.00	23.00	23.00
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	198,192	198,192	189,934	189,934
		317,291	316,476	304,805	314,786

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26 目標	H26 成果	H26 達成状況	H27 目標
個人貸出冊数	138,858冊	140,000冊	131,732冊	未達成	140,000冊
調査相談件数	10,448件	8,000件	8,083件	達成	11,000件
相互貸借冊数	5,125冊	4,000冊	5,378冊	達成	5,000冊

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・10月にトイレ改修工事により休館とし、開館期間が例年より短くなったため、個人貸出冊数は目標の94%となった。 ・調査相談件数については、目標とした8,000件を超えたが、件数のみならず、その回答内容や回答後の満足度の向上についても取り組んでいくことが重要と捉えている。 ・相互貸借冊数については目標を上回り、特に高等学校図書館への貸出冊数は前年比117.7%であった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・平成27年4月から外部登用した新館長のもと、県立の図書館としての機能・役割や情報通信技術の活用を含めた図書館サービスのあり方・機能強化について、改革の方向性も含めて一体的に検討し、改革の速やかな具体化を進める。 ・合わせて、県内外にも改革について情報発信し、県全体の公共図書館の機能向上への機運を高める。
--------------------	---